

2005 8 August

平成17年8月1日発行
第547号



SAKURA



SUGI



UGUISU

い し か わ

C O N T E N T S

町が好き、人が好き、みんなでつくる町が一番好き	
町の元気な おじいちゃんおばあちゃん	2
恒例 石川町長寿番付表	4
介護保険が変わります	5
10月1日は国勢調査です！	6
合併50周年記念特集	8
街かど探検隊・カレンダー	10
こんにちは・みんなの広場	12
生涯学習コーナー、ほか	14
国保だより、ほか	15
小さな美術館、ほか	16





★ちゃんおばあちゃん★

まだ誰も眠りから覚めない朝の時間、起きるとすぐに仏壇へ向かいます。お願いすることは、今日一日の家族の安全と健康です。それから、お茶を飲んで新聞に目を通し、おばあちゃんは畑へと向かいます。いつも笑顔で人と話すことの大好きな山田ハルヨさんは近所では有名な元氣おばあちゃんです。

一緒にテレビで野球観戦

おばあちゃんはジャイアンツの大ファン。息子さんとお孫さんはベイスターズ。そんな三人はいつも一緒に野球中継を見るそうです。野球好きな人なら、わかると思いますが、好きな球団の違いはケンカを起こしかねません。そんな中おばあちゃんは最近、途中で寝てしまうことが多いそうです。がんばれジャイアンツ！



山田ハルヨさん
(85歳・王子平)

夢は
高速道路を
走ること



夢はバイクで高速へ

息子さんの英重さんとお孫さんの英司さんはバイクが大好き。でもおばあちゃんは、「危ないからやめな！」とは言いません。なぜか？それは、おばあちゃんの夢は「バイク

元氣の秘密

誰とても話をするのが大好きなお

の後ろに乗って高速道路をスーッと走ること」だからです。でもやっぱり事故は心配。気をつけて走りましょう。

この夢は、道路交通法の改正により叶えられそうです。お願いします。英重さん、英司さん。

おばあちゃん、ゲートボールや老人会近所の人や友人とのふれあいも大切にしています。そして家族の援助なしでは楽しい生活は出来ないと言います。

家族で一緒に時間を過ごし、なんでも話し合い、助け合う。みんなで優しい気持ちで、心を明るく前向きに生活する。これがおばあちゃんの元氣の秘密です。

いつも
笑顔で元氣な
山田家



町田元氣信 おじい



ふるさとの花々を撮影したカメラ

「おじいちゃんこの花はなんているの？」子どもたちの元気な声が聞こえてきます。
 「この花はノアザミだよ」おじいちゃんはやさしく答えます。
 母畑小学校の3学年・4学年の子どもたちは、野草の観察会を行いました。この観察会に特別講師として招かれたおじいちゃんが関根政信さんです。



母畑小学校で子供たちにかこまれて

70年前からカメラ

関根さんは昭和10年、弟さんの影響で初めてカメラを手にしました。当時は写真自体が珍しいもので現像は自分で、現像のための用品も高価でなかなか手に入れることができませんでした。もっぱら家族の記念写真や飼っていた牛が入賞した記念の写真などを撮っていました。まだまだ趣味で写真を撮ることはなかった時代です。

カメラを離さない

ちょうど花の写真を撮り始めたのは平成3年6月のことでした。当時はまだ現役で農業をしていました。農作業で田んぼに行くとき、山に行くとき片時もカメラをはなしたことはありません。仕事の合間にあぜ道の花や山道の草花を撮影するためでした。生活の周囲だけでもたくさん花がありました。



関根政信さん
 (90歳・母畑字掘ノ内)

花を写すきっかけ

花を写真に残しはじめたのは、いつも近くに咲いていた花がなくなってきたからでした。急激に環境の変化が進み、野山は荒れ、野草は乱獲され、ほんらい花々が生活してきた場がなくなってきたのです。キレイな花の写真を残すことで自然破壊を憂い、そしていつまでも見つけたいと思います。

関根さんの身の回りはいつも整理整頓されています。写真は題名や説明などがつけられ整理され、古い写真は、今後のためにと接写(写真を撮影する)され保存されています。また書籍類もファイルにキレイに保存されています。
 素敵なおじいちゃん、私たちも見習いたいところですね。

介護保険が変わります

- いつまでもいきいきと暮らすために -

平成18年4月
から変わります！

介護予防・地域での生活支援・サービスの質の向上見直しなど

平成17年10月
から変わります！

施設サービスの利用者負担が見直されます。

なぜ今見直しが行なわれているのでしょうか？見直しの基本視点は3つ

介護保険制度がこれからも円滑に運営・持続していくために。

超高齢社会に備え介護や支援を必要とする人を減らし、元気な高齢者を増やしていくために。

2015年には65歳以上の高齢者が約3,300万人に、2025年には75歳以上の高齢者が2,000万人を超えるとされています。(厚生労働省「2015年の高齢者介護」より)

介護や医療、福祉など利用者が総合的なサービスを利用できるよう、他の制度との統合を進めていくために(継続審議中)。

平成17年10月からの改正の概要

施設サービス利用時の利用者負担が見直されます

施設入居者の居住費と食費は保険給付の対象ですが、在宅サービス利用者のその費用は自己負担となっています。

施設・在宅利用者の負担の公平性を図るため、施設給付のうち居住費、食費は保険給付の対象外となり自己負担となります。

詳しくは9月号でお知らせします。

平成18年4月からの改正の概要

介護予防を重視した給付や事業を行ないます

新予防給付の創設

介護保険制度がスタート以来、要介護状態が軽度(要支援、要介護1)の高齢者は年々増加しています。しかし軽度の高齢者に対する現在の介護予防サービスは、本来の目的の改善につなげていない状況から、軽度の高齢者に本来の意味での介護予防給付を行ないます。

地域支援事業の創設

高齢者が介護や支援が必要となる前に、要支援・要介護状態にならないための介護予防事業などを行ないます。

住み慣れた地域での生活を支援する

サービス体系をつくりま

地域密着型サービスの創設

一人暮らしの高齢者や認知症(痴ほう)の高齢者が増加するなか、自宅で生活する高齢者への支援の必要性が高まっています。身近な地域で地域の特性に応じた多様なサービスを柔軟に提供できるようにします。

地域包括支援センターの創設

虐待など高齢者がかかえる様々な問題相談、また、介護保険サービスと医療や福祉の選択の仕方など、高齢者の生活を総合的に支援する「地域包括支援センター」を設置します。

居住系サービスの充実

在宅介護と施設介護の中間的な役割を持った居住系サービスを充実させます。

適切な利用のために

サービスの質を確保・向上します

不適正な介護サービス事業者が

増えていることから、利用者がよい事業者、本当に必要なサービスを選択でき、要介護認定やケアプランの策定が公平・公正に行なわれるように、事業者の情報の公表や規則、ケアマネジメントの見直しを行ないます。

利用者と考えた負担のあり方や制度運営の見直しを行ないます

第1号保険料の見直し

低所得者に対しての保険料軽減など負担能力をきめ細かく配慮した保険料設定にします。また、特別徴収(年金から天引き)の対象を遺族年金、障害年金まで拡大や特別徴収対象者の把握時期を複数回にするなどの徴収方法の見直しが行なわれます。

要介護認定の見直し

市町村の保険者機能の強化

詳しくは10月号からシリーズで紹介していきます。

お問い合わせ先
石川町役場
保健福祉課高齢福祉係
☎26 - 9124



10月1日は 国勢調査

ご協力をお願いします



国勢調査

平成17年10月1日(土)

9月下旬から調査員がおうかがいいたします。

9月23日から
調査員が
調査票を
お届けします

10月1日
現在の状況を
記入ください

10月10日まで
調査員が
回収に
伺います

国勢調査員が うかがいます

9月下旬から、総務大臣に任命された国勢調査員が皆さんのお宅に調査票を配りにお伺いします。調査票が届いたら、10月1日現在の皆さんの状況を記入してください。

調査内容の秘密は守られます

法律により、国勢調査員は調査票の内容に関して、秘密を厳守することが義務付けられています。調査票は、統計を作る目的だけに使用し、厳重に管理されます。

結果は町づくりに生かされます

例えば、世帯構成や住宅の状況は社会福祉や環境整備のための計画を、就業状況は雇用対策などの経済政策を、通勤・通学などの人の移動は交通計画や防災計画の基礎資料になります。



お問合せ先

企画調整課企画係

☎26-9111(直通)

センサスくん

あなたの調査票が
明日のまちづくりに役立てられます

5年に一度すべての人を対象に行われる国勢調査



石川町合併50周年記念特集

年	月	おもな出来事
平成12年	4月	介護保険制度がスタート デイサービスセンター「長生園」が 開所
平成11年	11月	町ホームページを開設 第1回海外派遣事業「女性の翼」 がモンマス市へ
平成10年	8月	大雨災害・初の対策本部を設置
	5月	コン飛行場」が完成
	4月	石川町保健センターを設置
	3月	「屋内温水プール」がオープン
	2月	長野冬季オリンピック開催 調査区域に
	1月	首都機能移転先「北東」などを 調査区域に
平成9年	8月	計画区域の広域化 「石川都市計画区域」となる石 川・浅川・玉川・平田の各都市 公園」に決定
平成8年	4月	在宅介護支援センターが開所
	3月	南町の親水公園の名称「あさひ 公園」に決定
	2月	国営母畑開拓建設事業が完了 設置
	1月	県中地域水道用水供給企業団を 設置 新し尿処理施設が完成 非常災害に備えて東京都荒川区 と相互応援協定を結ぶ



平成
12年

デイサービスセンター
「長生園」が開所

一年中楽しめます
温水プールが
オープン!



平成
10年



平成
8年

「あさひ公園」名称決定
みんなのいこの場



平成
13年

キララ大使を委嘱

小泉 智英さん

21世紀を迎えミレニアムイベントが
開催されました。



平成
13年



渡邊 登さん



和子・ウィルソンさん

石川町50年のあゆみ

平成8年～現在

平成16年	平成15年	平成14年				平成13年								
8月	6月	10月	9月	8月	6月	4月	8月	7月	5月	4月	1月	6月		
全面開通	広域営農団地農道蓬田～浅川間	宮中雅楽鑑賞会が開かれる	きららクリーンセンターが運転開始	第15回全国健康福祉祭ふくしま大会（うつくしまねりんピック2002）が開催	地域イントラネット完成	住民基本台帳ネットワークシステムが稼働	完全学校週5日制スタート	新成人による新世紀未来議会在開催	沢田地区簡易水道通水	うつくしま未来博が完成	石川地方生活環境施設組合・排ガス高度処理施設完成	第4次総合計画（キララ21プラン）スタート	キララ大使を委嘱（小泉智英さん・渡邊登さん・和子ウィルソンさん）	余裕のある教室を利用して児童クラブ開設



平成14年

最先端の技術が集まった
きららクリーンセンターが運転開始



平成13年

沢田地区簡水が通水



平成13年

うつくしま未来博が開催



うつくしまねりんピック
2002が開催

雨の中、熱戦が繰り広げられました

平成14年



国の重要無形文化財
宮中雅楽の観賞会が開かれた。



平成15年

か ど 探 険 隊

取材します！身近に行われている楽しいイベントや明るい話題などを役場総務課までお寄せください。



石川たばこ販売協同組合が 全国統一美化活動

6月3日、石川駅前から石川町中央公民館まで石川たばこ販売協同組合女性部(矢内洋子会長)がクリーンアップを行いました。

同組合女性部は、「全国統一美化活動」にあわせ、ゴミを拾いながら喫煙マナーの向上や未成年の喫煙防止を呼びかけました。おそろいの緑色のエプロンには、「ひろえば町が好きになる」のロゴが入っており、すれ違う人たちの目を引いていました。

自宅の庭に 800株のサツキ

6月6日、字新屋敷首藤松男さん宅の庭に植えられたサツキ約800株が見ごろを迎えました。

このサツキは、首藤さんが昭和40年から、趣味として少しずつ集めたサツキの盆栽を10年前に庭へ移植したもので、家族と一緒に剪定や周囲の草刈などを行ってきました。首藤さんは、退職後、人が集まってくれる何かをやりたいかかった」と楽しそうに一面のサツキを眺めていました。



景観を守る 牛を放牧

6月10日、字梁瀬長久保貢さん所有休耕地地を利用した牛の放牧展示ほ場へ2頭の牛が放牧されました。

今回、牛のいる風景創出事業として休耕地の解消、農村の景観形成などを目的に県内4箇所モデル地区のトップをきり放牧が行われました。

このほ場は牛たちが草を食べつくした時、容易に場所の移動が出来るよう柵として電牧線が使われています。

自然の中に放された牛たちは、降り注ぐ太陽の下おいしそうに草を食べていました。

根本さん夫妻 福島県農業賞を受賞

6月22日、根本常和さん利子さん夫妻が第46回福島県農業賞を受賞しました。

この賞は農業経営改善などに積極的に取り組まれ地域の模範となる個人や団体に贈られるものです。根本さん夫妻は果樹の品種構成を工夫して出荷時期を早めるとともに、日当たりを考慮した樹形とし、着色に工夫を凝らし商品価値を高めたことが評価されたものです。受賞報告に町長室を訪れた根本さんは、「これからも石川町の果樹のブランド力を高めていきたい」と話していました。

CALENDAR

石川町 8 ~ 9 月の主な予定

8 月 August

15		
16	すくすく教室 (9:30~)	保健センター
17	心配ごと相談・結婚相談 (10:00~)	老人福祉センター
18	ねんきん相談 (郡山社会保 険事務所) (10:00~)	勤労青少年ホーム
19		
20		
21	在宅当番医	中島病院
22		
23		
24	1歳児健診 (9:30~)	保健センター
25	3歳児健診 (13:00~)	保健センター
26	心配ごと相談 (10:00~)	老人福祉センター
27		
28	在宅当番医 会長旗野球大会	おりの整形外科(ク) 町民グラウンド
29		
30		
31		

鳥内遺跡の全貌展は 8 月 28 日までです



心つたえよう明日へのメッセージ あじさいまつりが開催

6月26日、石川町体育館で2005あじさいまつり入遊佐憲雄実行委員長)が開催されました。

今年で16年目を迎えた、主催の「やさしく助け合う仲間のボランティアネットワーク」は地域の中で活動する様々なサークル団体が互いに助け合い協力しながら成長し、地域参加と貢献を目的に活動を続けています。この日は、各ボランティア団体のステージを中心に、トークショー、小規模作業所などで作られた作品やお菓子などの販売など様々な企画で、来場者と一緒に充実した楽しい一日を過ごしました。

9 月 September

1	防災の日 1歳6ヶ月健診 (13:00~)	保健センター
2		
3	東日本二部野球県南大会 (~4日)	町民グラウンド
4	新田地区スポーツ大会 在宅当番医	クリスタルパーク石川 中島病院
5		
6	協会杯ゲートボール大会	町民グラウンド
7	心配ごと相談 (10:00~)	老人福祉センター
8	3~4ヶ月児健診・BCG (13:00~)	保健センター
9		
10		
11	在宅当番医	中島病院
12		
13	ポリオワクチン投与 (12:30~)	保健センター
14	三種混合 (12:30~) ひまわり教室 (9:30~) 2歳児教室 (9:30~)	保健センター 保健センター 保健センター
15	老人の日 ねんきん相談 (郡山社会保 険事務所) (10:00~)	勤労青少年ホーム



アクアマリンの 移動水族館がやってきた

6月23日から25日までの3日間、南山形小学校・母畑小学校、中谷第一小学校の3校と総合体育館にアクアマリンぶくしまのアクアラバン(移動水族館専用車)が来町し移動水族館が開催されました。

総合体育館ではナマコ、ウニ、ヒトデといった水生生物に触れたり、海藻を使ってカードを作るなど興味深いコーナーが設けられ、家族で訪れた子ども達が、大きな歓声を挙げながら楽しいひと時を過ごしました。

ごんにちは

みんなの広場

青春ど真中 Q&A



板橋字沢古屋
小木 増美さん
(24歳)

職業 製造業の仕事をしています。

Q 今、情熱を傾けて取り組んでいることは何ですか

A 最近ヒリヤードにはまっています。まだ始めたばかりなのでうまくないです。あとは、買い物が好きです。

Q 将来やってみたいことや夢を聞かせてください

A 自分の好きな服に囲まれて仕事をしたかったので、洋服関係のショップ店員になりたいと思っています。

Q 町政に望むことはなんですか

A 路上駐車が多いので駐車場の整備をお願いします。

Q 最後に理想のタイプは

A やさしくて趣味の合う人です。

今回は、小木さんの紹介で

遠藤 毅さんです。

ほのぼの 二人三脚 Q&A



住所 / 沢井字大山平

中島 健夫さん (79歳)
ミツさん (78歳)

Q お子さんは何人ですか

A 子どもは5人授かり、孫が8人になりました。

Q 結婚されて50年、思い出を聞かせてください

A 私たちは昭和29年4月に結婚、少しの農家とかやぶき屋根の職人として生計をたてていました。泊まりこみの仕事もたくさん。泊まりをかけた。昭和40年くらいからは、かやぶき屋根の減少により夫婦で働きに出ました。長女が兄弟たちのめんどうを見てくれて助かりました。現在は息子夫婦や孫たちに囲まれるのんびり過ごしています。

Q お二人の楽しみは何ですか

A 健夫 温泉と読書です。ミツ 花と野菜づくりです。

Q 石川町の一番好きなところを教えてください

A 白鳥池などの自宅周辺の風景です。季節の花々や鳥たちのさえずりなど、とても落ち着きます。

Q 町政に望むことは何ですか

A 若者たちが定住するため、雇用の場の確保をお願いします。

HAPPY Smile



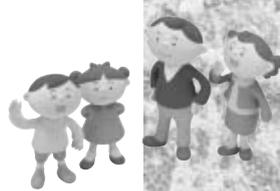
あかり
西牧明莉ちゃん
平成15年12月1日生まれ

「我が家の人気者。やさしいお姉ちゃんになってね！」
和浩パパより
(屋敷入)



まこ
山田 真子ちゃん
平成15年4月25日生まれ

「いつもニコニコ顔の真子。元気なこぼれ声聞いてね！」
英司パパより
(王子平)



しゅう だん
あつ あた
集 暖
まれば かい

よさこい踊り隊



最初はみんな初心者です。尻込みしないで、一緒に大きな声を出し、いっぱい動いて楽しくストレッチを発散しましょう！

参加してみませんか？

私たちは、下は幼児のジュニアからはシニアがちょいと、中は熟年パワーがあんこにどっさりケンケンワイワイのチームです。はじめは未来博の舞台上踊ろうと商工会の音頭で集まりました。ほとんどの人たちが「よさこい」を見たことがなく、手探りの状況でしたが、ビデオで研究したり、先進地へ習いに行ったりしてがんばりました。

▶青空の下、爽快です！



◀踊り終わるとさわやかな汗充満です

●日時 毎週木曜日
19時～21時
●場所 石川町体育館

●連絡先 遊佐 憲雄
●電話 26 3250

私のふるさと

神奈川県横浜市



双里字白坂下
藤井 満子さん

あなたの故郷はどんな所ですか

神奈川県東部、県庁所在地の横浜市中区です。中区には、県庁のほか山下公園、中華街、横浜スタジアム、外人墓地など様々な名所があり、異国情緒あふれる観光地として、また経済、商業、工業各部門で活気あふれる町です。

私の実家は本牧にあります。当時は海岸線が続く風光明媚な港町でした。海岸沿いの丘に学校があり、海で泳いだり、魚を取って遊んだことを思い出します。

現在、海岸線は埋め立てられ、工場が立ち並び、子どもの頃の面影はなくなってしまいました。

いつ、石川町に来ましたか
昭和48年に来ました。

石川町の印象は

遠くから聞こえてくるカエルの声、のどかな田園風景が美しく、人情味あふれる皆さんにとっても親切にいただいております。

町政に望むことは何ですか

雇用拡充や住環境整備を行い、若い人が定住し、子供がたくさんいる町づくりをお願いします。

募集案内

みんなの広場では各コーナーに登場していただける方を募集しています。お気軽にご連絡ください。

総務課広報広聴係

☎26-2112



検診結果の説明会について

7月は健診を受けた人を対象に、各地区で健診結果の説明会を開催しました。

健診も混み合っているようですが、健診の受診率が希望者の約57%で半数近くは未受診なのです。説明会の当日の参加者は受診者の4割強、「要精検なので説明したい!」と思う人は欠席だったり...。働き盛りの年代の人も欠席者が多く、お話しする機会がなくて残念に思います。

高血圧や心臓病、高脂血症、糖尿病などですでに病院にかかっている人は、そのまま継続して病院で診てもらってください。家庭医として全体を診てもらうことが大切です。来年は病院で受けましょう。

また、「健康に自信がある」「忙しくて受けられない」といった理由で受けていない人は、1年に1回はぜひ受けて欲しいと思います。健診は生活習慣病を見つけるための検査なので、若いうちから受けて、自分がどの位の状態なのか知って、よい習慣に変えていくことが健診のねらいになります。50代や60代で倒れたりしないために、30代・40代の生活習慣が大きく影響してくるのですが、自覚症状がないのでついつい後回しになっている人はいませんか。

～子育てサポーター養成研修会～

中央公民館では昨年度に引き続き、中・高校生が子育て経験者との交流や幼い子ども達とのふれ合いを通して、子育てについて学ぶ機会とする「子育てサポーター養成研修会」を開催しています。

12月までの8回の講座では、中・高校生を中心とした40名の受講者が、有識者による講義のほか、保健センターや保育所で子ども達と接する実習などを行っていきます。

各講座修了後には、家庭教育事業で協力を得ている家庭教育インストラクターの方々がコーディネーターとなり、その日の活動内容を話し合い、子育てについての理解を深めています。

6月18日の開講式では、石川文化幼稚園長の掛田勝院先生から「子どもの特性」についての講義のあと、今後の研修に臨むにあたって意見交換などを行い、家庭教育の重要性を認識していました。



6月18日におこなわれた開講式の様子です

町史

編纂室だより 96



新聞記者が見た

大正時代の石川郡と石川町 6

大正4年(一九一五)『福島民報』に連載された佐藤虎眠記者の「石川遊歴」も最終回に近づいてきました。佐藤記者の「結論」は次のようです。

*

田村郡から学べ、石川郡は地勢・生産・気質において田村郡に似ている。違うのは郡の面積である。だから石川郡の進歩・改善を図るならば、田村郡の経営を学ぶべきである。遠く県外を視察して多大の費用を投じるならば、隣接する田村郡から共通する方針を学ぶべきである。石川郡が教示するところも少なくないと思われる。

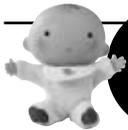
河野党あるのみ、石川郡には政党がない。河野磐州翁を中心とする個人的な団結があるのみである。主義主張の争いではなく人物崇拜である。磐州翁が自由党・進歩党・国民党・同志会に走れば郡

民もまた走る。磐州翁が生存する限りこの関係は変わらないだろう。県議選挙において、河野党による挙郡一致が見られる。小針啓太郎氏の擁立・辞退は同士の討ちを招いた。しかし、挙郡一致の風習が郡の平安を保っていることも事実だ。

農業の改善が急務、石川郡の主な生産物は米、こんにゃく、葉煙草、馬、繭、木炭、麦、石材等である。先ず米作は田地に勾配があり、耕地整理に適するところが少ない。むしろ分散する田地の交換が急務である。こんにゃくは玉のまま販売するよりは、粉にして供給すべきである。県下有数の馬産地ではあるが、官有地が多く放牧に不便である。これが解決すれば馬産は急発展するだろう。繭は整理期に入った。桑園の整理は急を要する。また、春蚕より夏・秋蚕の適地だろう。

MEMORY
メモリー
コーナー
CORNER

(平成17年6月1日～6月30日まで届出分 敬称略)



こんにちは
赤ちゃん

氏名	保護者	住所
木戸 雫 (しずく)	(正・里美)	山形
添田 脩真 (しゅうま)	(愼一郎・ヤス子)	山形
松山 莉緒 (りお)	(和洋・奈津子)	中野
水野 愛華 (まな)	(新太郎・あき)	長久保
小林 ちはや (ちはや)	(伸行・暁美)	中野
小池 陽真莉 (ひまわり)	(勝広・真利江)	立ヶ岡
山崎 蓮 (れん)	(秀生・朝美)	双里
遠藤 七海 (ななみ)	(悟史・純子)	沢井
伊藤 暢或 (はるか)	(渡・早千江)	双里
木戸 庵 (あん)	(哲也・ひろみ)	山形



カップル誕生

新郎 新婦 (出身地)

高原 光聖 (山形)・関根 亜矢子 (浅川町)
 添田 和博 (北山)・鈴木 由佳里 (鏡石町)
 神山 順 (中野)・菅原 直美 (矢目田)



おくやみ

氏名	住所
矢吹 ハルヨ	谷沢
郷 三喜子	大字新屋敷
小湊 タカ	谷地
塩澤 シゲノ	中野
緑川 ハナ	南山形
佐川 エツ	赤羽
中島 ヨシ子	沢井泉
鈴木 徹久	下南
藤木 恒吉	谷沢
水野 恒吉	谷沢
山口 タケ	境ノ内
渡邊 久雄	母畑
小平 安雄	古館
玉山 節子	塩形
遠藤 マト	山猫
大金 澤トク	下泉
志賀 賀タカ	下泉
佐藤 正美	谷沢

国保だより

交通事故にあったら

交通事故にあった・他人の飼い犬にかまれた・他人の打ったゴルフボールにあたった...など、第三者の行為によって受けた傷病についても、国保で治療を受けることができます。



ただし、治療にかかった費用は、国保があとから加害者に請求します。

必ず届け出を

国保で治療を受けるときは、必ず事前に「第三者行為による傷病届」を提出してください。

届け出に必要なもの

交通事故証明書
(後日でも可)
保険証
印かん

ただし、次の場合は国保で治療を受けることはできません。

加害者からすでに治療費を受け取っているとき

業務上のケガのとき

酒酔い運転、無免許運転などによりケガをしたとき

示談は慎重に

国保へ届ける前に示談をすると、その取り決めが優先して、加害者に医療費を請求できない場合があります。また、後遺症などの治療費も対象となりますので、示談を結ぶときは注意してください。

今月の納期

8月25日までに納めましょう
 町県民税 (2期分)
 国民健康保険税 (2期分)
 介護保険料 (2期分)

小さな美術館

第221回
山形小学校

施設の紹介

春は白藤・秋はもみじと四季折々の美しい自然に囲まれた中で、全校生17人が、仲良く協力して元気いっぱい過ごしています。俳句作りも盛んで、美しい自然の中からたくさんのお名句が生まれています。

どうぶつ村のピクニック



酒井 惣伍さん 添田 綾香さん 小豆 畑百香さん 酒井 晃さん 小豆 畑美雪さん 小湊 将生さん

空き箱を組み合わせて、思いおもいに好きな動物を作りました。その動物たちが集まって、ピクニックをしています。楽しい様子が現れるように池や木、草むらなども協力して作りました。

編集後記

元気なおじいちゃんおばあちゃんを取材させていただきました。今回の取材で強く感じたことは「家族」でした。どちらの家族も、とてもあたたかくて居心地のよい家庭でした。次に感じたのは「話がおもしろい」とても前向きで好奇心旺盛でした。「元気の源」ここに秘密が眠っているのでは？

(吉田知克)

町の人口

7月1日現在住民基本台帳

18,831人 (-18)
男 9,192人 (-4)
女 9,639人 (-14)
世帯数 5,580戸 (+4)

()内前月比

ふるさとの花だより



ウバユリ (ユリ科)

夏に開花し、2m近くに育つこともある多年草。花をつける頃には、葉が落ちてしまうことから、歯がない年齢になっても、なお、女の色気を保っている姥にたとえこの名がついた。

(写真提供 / 関根政信さん)

表紙の 登場人物

第二保育所に通う円谷利奈(りな)さん(中)祖父の英男さん(右)祖母のアイ子さん(左)です。



表紙の写真

【左上段】6月30日、町内某所で絶滅危惧種のハッチョウトンボを撮影。

【右下段】6月15日行われた石垣島体験学習団のひよっこ踊りの練習風景です。